

2020
AUTUMN
秋

官公需適格組合 20191023関東第8号認可

Jkk 全日本学校教材教具協同組合

経済産業大臣認可38 企庁第1292号

教材
教具の



jkkcoop.net

NEWS

GIGAスクール構想実施と授業のIT化促進について



特集

withコロナ期の到来と学校安全に関する取組状況

文部科学省 総合教育政策局 男女共同参画共生社会学習・安全課 安全教育推進室室長

栗井 明彦

今だからこそ光るパラリンピック教育を!

(公財)日本障がい者スポーツ協会常務理事 同協会日本パラリンピック委員会副委員長

高橋 秀文

新しい生活様式における感染症サーベイランスの活用について

公益財団法人日本学校保健会 専務理事

弓倉 整

ご好評いただいています!



Withコロナ期の到来と学校安全に関する取組状況

文部科学省 総合教育政策局

男女共同参画共生社会学習・安全課 安全教育推進室室長

栗井明彦



略 歴

栗井 明彦

平成 22 年 文部科学省高等教育局大学振興課教員養成企画室室長補佐
平成 24 年 文部科学省初等中等教育局財務課生涯生活設計専門官
平成 25 年 文部科学省初等中等教育局財務課教職員配置計画専門官
平成 29 年 千葉県香取市教育委員会教育長
平成 31 年 文部科学省総合教育政策局
男女共同参画共生社会学習・安全課安全教育推進室長

Withコロナ期の到来

昨年までは「Withコロナ」「postコロナ」は明らか、「新型コロナウイルス感染症」という言葉自体が存在することさえも想像できませんでした。新型コロナウイルス感染症第1波の流行を経てWithコロナ期に入っても在宅勤務やテレワークをしている企業・役所が多く存在しており、「新しい生活様式」による働き方の意識の変化を感じます。

また、学校は子供たちが集い、人と人との触れ合いにより、人格の形成がなされる場でありますが、皮肉にも人と人との距離を遠ざけてしまう新型コロナウイルスの出現により、長期の臨時休校や、家庭学習を強いられるという新しい未知の課題への対応が今般求められたところではあります。

GIGAスクール構想

文部科学省では学校現場に対し、社会インフラとしての機能も有するGIGAスクール構想を進めながら、対

面指導とオンライン教育のベストミックスの提示や教育ビッグデータの活用により、変化の激しい時代を生き抜けるよう、子供たちに個別最適化された学びを提供することを考えております。

昨年12月に閣議決定した経済対策におけるGIGAスクール構想により1人1台端末の整備が進めば、情報端末・教科書・ノート等の教材・教具を常時活用できる教室用机、情報端末の充電保管庫等の整備や遠隔会議システムの導入など、オンライン教育に適合した教室環境の整備が進むものと考えられます。

また一方、「新しい生活様式」を踏まえた身体的距離の確保のための教育環境整備の在り方も検討されているところであり、各学校において将来の教育環境を見据えた学校備品の整備の在り方を積極的に考える時期が来ていると思います。

学校安全に関する取組状況

子供の安全確保は教育を行う上での大前提になりま

すが、文部科学省では3年ぶりに、平成30年度末時点の「学校安全の推進に関する計画に係る取組状況調査」を本年3月に公表しました。その中の調査項目に「学校や地域の状況等を踏まえて、必要に応じて設備や備品を備えている学校/安全を守るための器具」というものがあり、全国88.2%の学校(うち小学校98.2%、中学校93.4%)で、さすがにまたが配備されています。実はさすがにまた、壁や床を使用せずに押さえ込むには3本以上の本数が、壁に押し付ける場合でも凶器を所持している場合には2本以上必要と言われておりますので、扱いの難しい防犯用具であることもご理解いただきたいと思います。児童生徒が所持する防犯ブザーは全国35.1%の学校(うち小学校75.8%、中学校11.9%)で配付されていますが、持たせるだけでなく、俊敏に反応してさっと手が伸びるようにしなければ対策になりません。

学校再開後の分散登下校時に巧妙な声掛けで子供を狙った不審者が相次いだことも、今後の第2波、第3波に備えて忘れてはいけなことです。

AEDの設置状況

「学校安全の推進に関する計画に係る取組状況調査」ではAEDの設置状況についても調査をしており、平成30年度末時点で設置済み又は設置予定の学校の割合は95.1%（うち小学校・中学校は99.9%、高校99.8%）となっています。設置済みの学校のうち、複数台設置している学校の割合は25.1%（小学校19.1%、中学校29.8%、高校75.3%）、設置場所は玄関40.4%、職員室28.4%、体育館26.4%の順になっていますが、小・中学校では玄関、体育館、職員室の順、高校では体育館、玄関、保健室の順となっており、複数台設置校では運動中の事故を想定して2台目を体育館に設置していることが分かります。児童生徒を対象としたAEDの使用を含む応急手当の実習を行っている学校の割合は小学校32.0%、中学校74.0%、高校81.7%であり、小学校においては学習指導要領での位置づけがないことや児童の心の負担への配慮等、中学校・高校においては実習が必須となっていないこと等によるのではないかと考えられますが、実習の実施割合は過去と比べ増加傾向となっています。

安全教育で目指していく「自他の生命尊重を基盤として、自ら安全に行動し、他の人や社会の安全に貢献できる資質・能力」は新しい学習指導要領と軌を一にしておりますので、これまで以上に児童生徒の発達段階に応じた適切な指導が行われることを期待しております。

学校安全の推進に関する計画に係る取組状況調査 [平成30年度実績]

学校安全の推進に関する計画に係る取組状況調査 [平成30年度実績]について

- 調査の趣旨
 - 平成31年3月に施行された学校保健安全法（昭和34年法律第10号）及び第2次学校安全の推進に関する計画（平成31年3月24日閣議決定）等に基づき、今後の教育行政や学校安全の推進を促すため、各学校における学校安全の取組状況を調査する。
 - 調査対象：調査対象年度末に在籍し、学校に所属する児童生徒が実施している。（平成30年度調査については、学校の調査対象年度も調査する年と見なす。）
- 調査対象
 - 全国の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校、幼稚園、短期大学等。
- 調査対象地域
 - 調査対象地域（令和元年7月現在）で調査されている学校の平成30年度調査対象年度末の状況を示している。
- 主な調査項目
 - 1. 学校安全計画の策定状況と内容について
 - 2. 危機管理マニュアルの作成状況について
 - 3. 安全な校舎・施設と設備について
 - 4. 学校的安全管理の取組状況について
 - 5. 事故・災害発生時の対応体制について
 - 6. 安全な校舎・施設と設備の取組状況について
 - 7. 児童生徒の安全意識の向上について
 - 8. 調査結果を踏まえた今後の取組について

【4. 学校の安全管理の取組状況について】

16-③ 学校や地域の状況等を踏まえて、必要に応じて設備や備品を備えている学校／安全を守るための器具

調査対象	AEDを設置又は設置を予定している学校
合計	47,089 (95.1%)
幼稚園	7,603 (79.9%)
幼稚園型認定こども園	3,722 (88.5%)
小学校	19,397 (99.9%)
中学校	10,066 (99.9%)
義務教育学校	87 (100.0%)
高等学校	5,034 (99.8%)
中等教育学校	54 (100.0%)
特別支援学校	1,127 (99.7%)

【4. 学校の安全管理の取組状況について】

- 16-③ 学校や地域の状況等を踏まえて、必要に応じて設備や備品を備えている学校／安全を守るための器具
- 26 自動体外式除細動器（AED）を設置又は令和元年度内に設置を予定している学校

16-③-1. 全国の学校

調査対象	調査対象数	設置済み又は設置を予定している学校数	割合
合計	49,516	47,089	95.1%
幼稚園	9,519	7,603	79.9%
幼稚園型認定こども園	4,202	3,722	88.5%
小学校	19,411	19,397	99.9%
中学校	10,072	10,066	99.9%
義務教育学校	87	87	100.0%
高等学校	5,040	5,034	99.8%
中等教育学校	54	54	100.0%
特別支援学校	1,131	1,127	99.7%

26. 自動体外式除細動器（AED）を設置又は令和元年度内に設置を予定している学校

調査対象	AEDを設置又は設置を予定している学校
合計	47,089 (95.1%)
幼稚園	7,603 (79.9%)
幼稚園型認定こども園	3,722 (88.5%)
小学校	19,397 (99.9%)
中学校	10,066 (99.9%)
義務教育学校	87 (100.0%)
高等学校	5,034 (99.8%)
中等教育学校	54 (100.0%)
特別支援学校	1,127 (99.7%)

新型コロナウイルスの影響を受け、昨今は特に学校安全についての関心が高まっています。そこで、専門である文部科学省の粟井室長様へ学校安全の調査内容に関してのご寄稿をお願いしたところ、快くお引き受けくださいました。感謝申し上げます。（JKKNews編集部）

今だからこそ光るパラリンピック教育を！

(公財) 日本障がい者スポーツ協会常務理事
同協会日本パラリンピック委員会副委員長

高橋 秀文



(公財) 日本障がい者スポーツ協会常務理事、同協会日本パラリンピック委員会副委員長。東京2020パラリンピック大会会場を観客で満杯にすることを目指しファン作りに奔走している。

コロナ禍のなかでの模索

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度の1学期は大半の学校が休校で迎えることになりました。

この原稿を執筆しているのは2020年の7月半ば。本来ですとオリンピックの選手団が日本に到着し大会直前の熱気に溢れ、パラリンピックも開催に向けたラストスパートの時期であるはずでした。

未曾有の災禍に対し、私たちは何とか先に進むための方法を、それぞれの置かれた状況の中で模索しています。先生方も子ども達も何が正解かもわからない不条理な状況のなかで、できないことをただ諦めるのではなく、状況を受け入れた上で、どうすれば前に進めるかを必死でお考えなのではないでしょうか。

困難に挑戦するアスリートたち

パラリンピックアスリート(パラリンピアン)もまた、不条理な苦難に向き合い、もがき、努力して今日を作り上げた者たちです。彼らが困難に挑戦するのに特別な能

力があつたわけではありません。ただ諦めず不安と戦いながら、一歩一歩進み、パラリンピックという最高の活躍の機会を得ただけなのです。

国際パラリンピック委員会公認教材の「IMPOSSIBLE (アイムポッシブル)」では、パラリンピアンが体现する、「勇気」「強い意思」「インスピレーション」「公平」というパラリンピックの価値を通じ、児童生徒が自分自身や社会にどう向き合うかを考えることで、様々な人たちが共生する社会を作るための基本を学べるようになっていきます。

たとえば「IMPOSSIBLE」の中で、アスリートのストーリーを通じて、彼らがどのように苦難に向き合ったのかを考える授業があります*1。「努力したからといって報われるとは限らない、でもやめたら絶対に叶わない」という状況の中、強い意思を持って、迫りくる不安と戦いながら、ときには泣いたりしながらもその日できることを重ね、結果的に信じられないようなパフォーマンスを実現した人々についての授業です。自分を取り巻く環境が突然変わり、不安に直面している現在の子どもの状況にも当てはまるところが

あるのではないのでしょうか。パラリンピアン姿に自らを重ね、自分に今できることを考え直すきっかけとしていただけるのではないかと思います。

共生社会の実現のために

「IMPOSSIBLE」は、先生方が最小限のご準備で授業を手軽に行なえるよう、必要なものがパッケージ化されており、教材14ユニット(14授業分)はすでに全国の小中高等学校、特別支援校などに配布済みです*2。

本教材はこの他にも、パラリンピックの中にある「できない」を「できる」にするための工夫や共生社会実現のための考え方を、様々な角度から学べるようになっていきます。今年は、学習指導要領に「パラリンピック教育」が含まれた元年でもありません。困難に立ち向かう姿勢は普遍的テーマであり、大会に向けてはもちろんのこと、今だからこそ伝えるべきメッセージもたくさん含まれていると自負しています。ご利用いただければ幸いです。

*1 小学生版 1-2 パラリンピアン香西選手ってどんな人だろう？
2-8 パラリンピアンを応援しよう！

中・高校生版 1-2 「強い意志」「勇気」「インスピレーション」について考えてみよう！(香西宏昭選手 編)
1-3 「強い意志」「勇気」「インスピレーション」について考えてみよう！(村岡桃佳選手 編)
2-8 パラリンピアンの魅力に迫ろう！

*2 東京2020教育ポータルサイトからもダウンロード可 <https://education.tokyo2020.org/jp/teach/texts/iampossible/>

新しい生活様式における 感染症サーベイランスの活用について

公益財団法人日本学校保健会 専務理事

弓倉 整



日本大学大学院卒、医学博士。日大医学部附属板橋病院、宇宙飛行士健康管理医などを経て、1996年より弓倉医院院長。主研究領域は循環器内科。現在、(公財)日本学校保健会専務理事、厚生科学審議会専門委員等も務め、広く学校保健に携わる。著書に「さらばスペースシャトル」「学校保健マニュアル」など多数。

新型コロナウイルスによる課題

今年は新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、学校現場では全国一斉休校など大きな影響が出ています。学校再開後も、児童生徒の生活習慣の変化や体力低下、保護者のストレス、また3密を避ける等の感染防止対策下での授業など課題は山積みと言えるでしょう。

学校現場での注意深い観察を

「正しく恐れる」という言葉をよく耳にします。これは正しい知識を持ち不確かな情報に惑わされず、正しい対処を行うという意味で使います。例えば同じ感染症でも、麻疹はワクチン接種など感染予防対策がありますので「正しく恐れる」のは比較的容易です。しかし新型コロナウイルス感染症は誰もが経験したことのない未知の新興感染症です。そのため、専門家ですら手探りで対応せざるを得ない状況が続いているのが現状です。

「正しく恐れる」という言葉の語源は、寺田寅彦の随筆「小爆発二件」の中で、浅間山の噴火の際に下山してきた

学生が「なんでもありませんよ、大丈夫ですよ」と職員に語り、職員がおごそかな顔で「そうではないです」と答える様を見て「ものをこわがらな過ぎたり、こわがり過ぎたりするのはやさしいが、正当にこわがるのはなかなかむづかしい」と書いた文章です。新型コロナウイルス感染症に対する正しい知識が充分と云えない現在は、まさにこのような状況だと思えます。だからこそ専門家の意見に耳を傾けつつ、学校現場やその地域での感染を注意深く観察することが求められます。

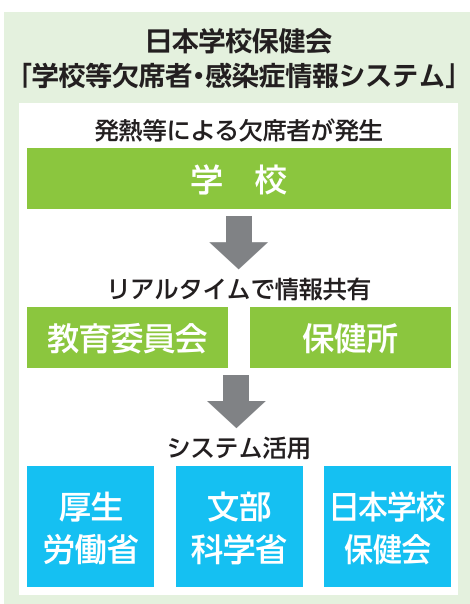
感染症サーベイランス

ある地域で感染症が流行していないかどうかを調査・監視するのが感染症サーベイランスという仕組みです。

厚生労働省がその仕組みを構築していますが、日本学校保健会でも学校単位で発熱等による欠席者をリアルタイムで把握し、教育委員会や保健所等と情報共有する「学校等欠席者・感染症情報システム」を無償で提供しており、今年から厚生労働省と文部科学省からもこのシス

テムの活用について事務連絡がなされました。既に全国の保育園の約33%、小学校の約53%、中学校の約50%で利用されていますが、本システムをさらに広め現場の感染対策に活用していただければと思います。

日本学校保健会は文部科学省と協力して現場の皆様へ寄り添う対応を目指してまいります。皆様のご協力により、より詳しくお願い申し上げます。



GIGAスクールで使用する教材教具について

- dynabook『K50』
- タブレット・PC充電保管庫『アイリス』
- ソフトフレームPCメガネ



必要とされる4つのサポート体制

- 1 高速通信ネットワークの構築サポート
- 2 ハードウェア(タブレット・PC端末)のサポート
- 3 ソフトウェア(学習支援ソフト等)のサポート
- 4 授業活用のための人的サポート

GIGAスクールにおけるサポート

令和元年度及び2年度補正予算において、児童生徒向けの学習用PCを教育現場で使用するための予算措置がとられました。

背景として、日本ではゲームやチャットでデジタル機器を使う頻度は高いものの、学校でのICT機器を活用した授業においては、OECD(経済協力開発機構)加盟国のなかでも低い水準であることがあげられます。子供たちの可能性を広げる場所である学校が、時代に取り残され、世界からも遅れたままではいけないと国をあげて危機感を募らせています。

当組合の役割としても学校教育にタブレット・PC端末をしっかりと定着させられるよう、先生方をサポートしていきたいと思っております。

Dynabook社の「K50」への活用

JKKは、導入後のサポートも安心な国内メーカーDynabook社と提携しました。モバイルPCにもペンタブレットにもなるデュタッチャブル型PC「K50」は、Windowsマシンので、学校でも馴染みやすい仕様です。

またオプシオンで選べるペンは絶妙な書き味で、児童生徒らが学習支援ソフトを活用し書いて学びを深めることができます。

タブレット・PC充電保管庫も重要なキー

当組合で開発しているタブレット・PC充電保管庫は、貴重な授業時間を少しでも長く確保できるように、機器の配布と回収に焦点を当てて設計。業界初の両面式の扉であるため、児童生徒がデバイスを両側から出し入れでき、スムーズな作業ができるように配慮されています。

文部科学省が毎年行う学校基本調査によると、2019年度の1学級当たりの収容人員が、40人以上の割合は小学校では0.1%程度、中学校においても1.3%しかありません。平均的な収容人員は小学校23人、中学校27人程度です。そこで、この保管庫は必要最低限のユニットでコントロールできるように、3段式(39台収納)と2段式(26台収納)とし、大半が収まる合理的な配慮がなされています。

また、多くの台数を一度に充電すると校内の電気回路に負荷がかかるため、1段ずつ任意で決めた時間で充電できるように

輪番充電式とし、完了後は全台に予備充電できるように電気的な制御も行われるので安心です。

児童生徒への健康面でのケア

タブレット・PCの普及により利活用が進めば、児童生徒の眼精疲労や将来的な眼の疾患も心配です。

様々なメディアにも取り上げられていますが、モニターから発せられる紫外線領域に近いブルーライトへの対策も今後必要不可欠になってくるでしょう。

児童生徒の健康や安全という視点も取り入れ、PCメガネなども揃えておきたいアイテムの一つといえます。

新型コロナウイルスの感染拡大に配慮し、自宅学習のみならず、教員との連携も重要視されるため、ICT教育発展のための持続的な取り組みが今後ますます必要とされるでしょう。



GIGAスクールについて語る、全日本学校教材教具協同組合(JKK)理事長の小林広樹



dynabook K50

高性能タブレットで快適な手書き入力
キーボードで作業効率アップ
コンパクト2in1デタッチャブルPC

- サッと持ち歩いて幅広いシーンで活用
- 手軽に扱えるコンパクトサイズ
- 安定して操作できる自立デザイン
- ノングレアで見やすい10.1型WXGA液晶

dynabook『K50』

オープン価格

【OS】Windows 10 Pro 64ビット
【CPU】インテル® Celeron® プロセッサ N4020
【メモリ】4GB 以上* 【ストレージ】64GBフラッシュメモリ*
※モデルにより異なります

タブレット・PCを最大39台収納可能
子ども達の取りやすさに配慮した両面扉
角はクッション材付きで安全性をアップ!

- 両面からタブレット・PCの出し入れができ、施錠も可能
- 収納部と配線類を分離した、配線の混同を防ぐ仕様
- 庫内には、7個口タップを6つ内蔵
- 輪番充電機能および、過電流対策のヒューズを搭載

10月末
発売予定

両面扉式 タブレット・PC充電保管庫 『アイリス』

IRIS-26 ¥160,000 (税抜) / IRIS-39 ¥180,000 (税抜)

【サイズ】W464×D409×H1129mm【質量】約60kg(PCを除く)
【材質】本体:スチール、仕切り板:PP【電源】AC100V8A
【対応端末サイズ】IRIS-26:9~14インチ相当、IRIS-39:9~13インチ相当



タブレット・PCから放たれる有害な
ブルーライト光線を効率的にカット!
子ども達の目の健康を最優先に考えて
作られた日本製「PCメガネ」
ツルの部分は曲げても折れない
丈夫なウレタン製

- 子どもの顔にフィットするように設計
- メガネの上から装着できるオーバークラスタイプ
- 理科実験でも使用できるようサイドもプロテクト
- レンズはポリカーボネート製で割れにくく安全

ソフトフレームPCメガネ

オープン価格

【サイズ】W140×H44×D135mm【質量】32g
【材質】フレーム:ウレタン、レンズ:PC
【仕様】ブルーライト領域44%カットレンズ【生産国】日本



お客様の目線で、ニーズに応えられる商品を！ 有限会社 田中金属

創業60年を超える田中金属さんは、最新3DCADを駆使し、医療機器や防災備蓄関連の筐体、測定機器類ケースなど高精度製品の板金設計・製造を行う会社です。
田中社長にもつくりにかける想いをお聞きしました。

高校の同級生からの突然の依頼

「JKKの理事長である三和製作所の小林社長とは同級生なんです。その彼が、12年前のある日突然やって来て『AEDの収納ケースを安く作れないか？ニーズはあるけど既存の製品は高い！』って言うんですよ。そこからが大変！高品質で安価なものなんて簡単ではないですよ。彼とたった2

人で、通常の会社業務終わりの深夜から翌

日の朝方まで毎日毎日試行錯誤を続けました。当初は、設計する技術も十分でなく、ホントにやっとの思いで製品を作り上げたという形です。でも、その時培ったノウハウが基盤となって、今では設計の提案ができることが田中金属の強みになっていきます」

そこまで頑張れたわけは

「なによりも三和製作所がお客様の目線第一で考えており、それを田中金属で作ってほしいという熱い想いが伝わってきたからだと思います。モノづくりのやりがいはなんだろうと考えると、自分にとってはお客様のニーズを叶えることが一番の喜びなんです。お困りごとを解決するということ、そのままやりに繋がっていきます」

商品の値付けには工夫が必要

「商品の値付けは材料費ではなく製作にかかる時間だと思えます。時間は工程数で変わるの、私たちは工程数をできるだけ減らす工夫をしています。例えば先ほどの「AED収納ケース」、苦労したかいたってロングセラーとなっていますが、ここにも工夫があって、リベット打ちのものを加えずあえて出すことで工程数を減らしました。これまで溶接などでラインが出ないように隠していたのですが、デザイン的に見ても隠す必要はないと判断しました。今でこそリベットが出ている機構をよく見るようになりましたが、これを最初にしたの

は弊社じゃないかな？なんて思って、社会貢献できたような気になっています。」

新製品は、学校の授業をことん意識！

「いま三和さんと一緒に作っているのが「タブレット保管庫」です。最大の特徴は「授業をことん意識した作り」。実は他のメーカーさんからお声がけいただいたのですが、こちらはメーカー目線の商品依頼だったんです。でも三和の作りたい商品は子どもと先生の目線。仕切り板を金属から安全なプラスチックに変えたり、前後どちらからも開く扉にすることで授業開始時や終了時の保管庫まわりの混雑を避ける仕組みにしたり、そういう使う人のニーズに応えられることが作り手としては嬉しいことなんです」

最後に学校現場に対して一言、とお願いしたところ「子ども達の成長に繋がり、教育に役立つのであれば何でもやりたいです。どこよりもスピーディに動きますよ！」と力強くおっしゃいました。モノづくりに対する真摯な想いが伝わる熱いインタビューとなりました。



①感染症対策に欠かせない「アクリルパーテーション」の脚部を急ピッチで製作中
②ロングセラーとなった「AED収納ケース」
③入念な設計のもとに作られた新製品「タブレット保管庫」



有限会社田中金属
代表取締役社長 田中智隆氏



世界中のよりよい「PLAY」を子ども達へ！

株式会社 CAST JAPAN

世界19か国、30を超えるブランドのPLAY(知育玩具や学びのアイテム)を輸入販売する株式会社キャストジャパンさん。

子ども達の健やかな発達を促し、想像力や楽しむ力を育むことをテーマに、「心に残る価値のあるモノ」を目指す小屋代表に、プログラミング教育について伺いました。

いま学校に必要とされるアンブラグド教育

「アンブラグド教育とは、パソコンなどの端末を使わずに、プログラミング学習をすることです。プログラミングというと、高価なICT機材を揃えなければと思われがちですが、まず子どもたちに必要なのは物事を想像する力や、問題を発見し解決する論理的推理力です。アンブラグド教材

には、何か壁に当たった際、自分の頭で考え解答を導き出すスキルを磨く効用があります。広い知識と、それを上手く使うための思考力を鍛えて、ITへの理解を同時進行していくことが良いと思います。アンブラグド教材の利点は他にも、安価であること、繰り返し使えることなどがあり、学校での導入も容易で汎用性があります」

「プログラミン

グ教育に必要

な3つの柱

1つ目は「普遍的な思考スキル」人は誰でも思考の偏りがあるので、まずは論理的に思考するためのフォーム(型)を身につける必要があります。これは正しいフォームを手に入れなければ速く走れないのと同じです。そこでボードゲームは、脳内でトライ&エラーを繰り返しながら検証作業を行えるので論理的な思考を身につける最適なツールと言えます。

2つ目は「創造的な感性&思考スキル」多くの仕事はAIがやってくれる時代がくるでしょう。これからの子ども達には、AIができないような想像力や直感、感覚などを伸ばす教育がますます必要となってきます。

3つ目は「コンピューティショナル思考スキル」これは高学年向けスキルですが、コンピューターはどうやって動いているのか?など仕組みを理解することに、Tech教材などでプログラミングやコーディングを使います。ITテクノロジーへのリテラシーを高めるスキルになります」



①客観的に見るスキルをつけ、脳内で整理整頓して戦略を練るボードゲーム「クアルト」
②プログラミングに大切な思考プロセスを鍛える論理性と数学的要素が楽しい「バランス・ビーンズ」
③アンブラグド教材を使ってる教育者向け教材「PLAY学習」

プログラミング教育に必要

な3つの柱
「弊社の教材は3つのスキルを柱に、一貫したプログラミング教育を行うことができます。」

1つ目は「普遍的な思考スキル」人は誰でも思考の偏りがあるので、まずは論理的に思考するためのフォーム(型)を身につける必要があります。これは正しいフォームを手に入れなければ速く走れないのと同じです。そこでボードゲームは、脳内で

トライ&エラーを繰り返しながら検証作業を行えるので論理的な思考を身につける最適なツールと言えます。

2つ目は「創造的な感性&思考スキル」多くの仕事はAIがやってくれる時代がくるでしょう。これからの子ども達には、AIができないような想像力や直感、感覚などを伸ばす教育がますます必要となってきます。

3つ目は「コンピューティショナル思考スキル」これは高学年向けスキルですが、コンピューターはどうやって動いているのか?など仕組みを理解することに、Tech教材などでプログラミングやコーディングを使います。ITテクノロジーへのリテラシーを高めるスキルになります」



株式会社キャストジャパン
代表取締役社長 小屋貴義氏

「PLAY学習」で、3ステップ授業
「私たちは、子ども達と年間2000回ほどのワークショップを行っています。どうしたら子ども達が『わかった!』となるのか、わからない時は何が原因か、実体験に基づいて体系化して作り上げたのが、この教育者向け「PLAY学習」です。授業を「play・learn・design」という3ステップに分けて、最終的に「創る」という実験的思考を形にするワンセットで行います。子ども達へ教えやすい内容になっており、近い将来オンラインでも公開する予定です」

最後に、これからプログラミング教育を行う先生に向けては、「アンブラグド教材は、有効性は高いのに学校ではあまり取り入れられていないのが現状です。私たちは教材の使い方をお教えするために、学校に直接お伺いしての講習や、webでのオンラインレクチャーなどを行っています。どうぞどんどん活用ください」とのお言葉をいただき、「この講習会、先生方にぜひとお勧めしたい!」と強く思いました。

未来へつなげる JKKの取り組み

新型コロナウイルスの影響で、残念ながら2020年東京オリンピック・パラリンピックは、延期せざるを得ない未曾有の状況です。JKK加盟企業においても、全国的に学校再開が遅れたことにより、教材需要の動向にも変化があり大きな変革もたらされました。その中で行ってきたJKKの取り組みをご紹介します。

前年度から続く

「心肺蘇生・AED教材開発」

この教材開発事業は、児童生徒に心肺蘇生とAEDの使い方を学んでもらい、学校での突然死「0」を目指そうという取り組みで、公益財団法人日本AED財団と共同でスタートしました。



小学校からの発達段階に合わせた一貫性のある教材・教具を開発するため、熱い議論を重ねる20名の医師と教育者

小学生においては、人を助けるための心構え、関わる勇気を育むことといった気持ちに寄り添う授業展開から始め、中学生になると「胸骨圧迫」や「AED」の使い方等の技術的な救命措置の手法の学習、高校生になると、その上で心肺蘇生やAEDに関する情報から読み取れる社会的課題を自ら考えて話し合い、答えを出していくようなプログラムを構築しています。小・中・高等学校と段階的に学びを深めるための指導案作りから教材開発に繋げて、救命率向上を目指す社会基盤の構築が最終目標です。

「ハートブリッチガーデン」のご紹介

JKKの中核企業である千葉県市川市に拠点をもち株式会社三和製作所において、「ハートブリッチガーデン」というスペースが設立されます。

このスペースでは障がいを持つ子ども達をサポートするために、多くの教材教具や専門書籍を取り揃え、子ども達の自立や学びを支援するプレイルームが存在します。またご家族が問題を抱え込まないよう、障害を持つ子ども達やご家族をサポートする教職員、行政、福祉関係の方々などとも連携を深め、架け橋になるようなコミュニティスペースを目指していきたいと思っております。お近くに來られた際は、ぜひハートブリッチガーデンに足を運んでみてください。



専門書籍や教材教具が、手に取って読める、試せる、ハートブリッチガーデン

JKK各委員会の活動

400社弱が加盟するJKKにおいて、経済産業省からの支援を受けて毎年「夏期研修会」を行っています。全国から集まり顔を合わせて有意義な会を執り行ってお

り、今年は大坂開催を計画していましたが、新型コロナウイルスの影響で中止となりました。昨今では、理事会や委員会（組織、広報、販促、事業、研修、開発）においても、WEB会議が常態化してきていますが、思ったよりもしっかりと意思疎通ができるツールとして定着しつつあります。そうした背景の中、夏期研修会もWEBを活用した「夏期オンライン研修会」と変貌し、商品勉強会から情報交換会や事例発表なども行われる予定です。



近未来的には、貴重な教材予算を有意義に活用するため、先生方に向けてWEBを活用した教材教具のご紹介をさせていただいたり、ご相談を受けたりということが、今以上に身近になることでしよう。



JKKは、先生方によりよい情報をお届けできるよう、組合員一丸となって委員会の仕組みづくりを行っております。今回はそんな委員会の中で生まれた2つの新製品をご紹介します。

始まりはいつも現場から



■水書紙■

何度でも繰り返し使える手軽で安価な水書紙
グレー(黒字)とピンク(赤字)の2種類

低学年の「書写」の授業に、新たに取り入れられるようになった水書。それに合わせオリジナルの水書板をお勧めするための会議を行っていたところ、委員会メンバーの一人から「水書紙も作れないかな?」という提案ができました。詳しくお話を聞いてみると、水書紙は国語の教科書に付属で一枚入っているのですが、何度も書いていううちにポロポロになってしまふとのこと。替え用の水書紙が安価で販売されていないことから、何とかできないかというものでした。

JKKではそういった製品を扱っていませんでしたが、水書板を製造しているので作れる技術はあるはず。では、どん

なものがベストなのか。「教科書に挟まるようなB5サイズがよい」、「価格はこのくらいが現場ではお求めやすいのではないかな」など意見がどんどん集まり、その場で製品化が決定!なんと翌日には販売ができる体制が整いました。



表情がはっきりと確認でき、外国語など発音や口の動きを見る授業などに最適

■クリマスク■

新型コロナウイルスの対策品としては、クリマスク(透明マスク)も委員会メンバーを務める理事の集まりで生まれた製品です。「表情が見えないと、低学年の子ども達には気持ちが伝わりづらいことがあるようだ」、「マスクやフェイスシールドはこれからの季節、暑くて大変ではないか」などの懸念の中で、最近透明マスクというものがあるらしいという話になりました。調べてみると色々な場所で使用されており、確かに便利そうです。現場に詳しい理事たちの意見も聞き、十分に需要があると判断した結果、理事長(三和製作所代表取

締役)が動きました。通常のルートでは価格も納期もかなり厳しいということから、会議の翌日には、元々付き合っている中国の会社と直接交渉。オリジナル製品としての製造ルートを確保し、販売できる体制を早急に整えてタイムリーな製品化を実現しました。

なぜ、JKKはこんなに早く製品化ができるのか

JKKをバックアップしている三和製作所には、製造メーカー・商社・梱包資材メーカーなど「ものづくり」に関わる様々なジャンルの企業60社ほどが集まる共有三栄会という組合があります。自社又は共有三栄会のメンバー内で、より早く、より安く作れるような仕組みを作っているため、JKKから作りたい製品の要望を受けると、いち早い対応が可能となるのです。

欲しいものがなかなか見つからない。そんな時は、是非JKK組合員までお声をください。

先生方の
教材・教具に対する
生の声を
お聞かせください!



jkkcoop.net/contact

児童生徒が、もっと学びたくなる。
そんなパソコンをめざしました。



Windows 10 Unlock Limitless Learning

dynabook

打ちやすいキーボード。
タッチや手書き入力にも対応



※ペンはおオプションです！

自立デザインのノートPC



前面と背面に2つの高画質カメラ



約16.0時間*2の長時間バッテリー駆動



dynabookシリーズは、イド・アワード2020
子どもPC 中学生Windows PCの部において
「顧客満足度 最優秀賞」を受賞しました。



10.1型 教育用タブレット & ノートPC 2in1 デタッチャブル

dynabook K50の
詳細はWebで

dynabook

K50



Dynabook株式会社

ご購入に関するお問い合わせ 国内B2B営業本部 文教営業部 ▶ bunkyo@dynabook.com

*1 充電式アクティブペン(オプション:PA5342N-2PEN)。 *2 JEITA/バッテリー動作時間測定法(Ver.2.0)による値。実際の駆動時間は使用環境および設定などにより異なります。 ●Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。 ●その他の記載されている社名・商品名・サービス名などは、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。 ●ご利用にあたっては、安全確保前請に準じたご利用をお願いいたします。 ●記載されている数値および表記は2020年8月現在のものです。



貴重な授業時間を確保することに配慮した
タブレット・PC 保管庫

最大39台収納!



タブレット・PCを最大39台収納可能
子ども達の取りやすさに配慮した両面扉
角はクッション材付きで安全性をアップ!

- 両面からタブレット・PCの出し入れができ、旋錠も可能
- 収納部と配線類を分離した、配線の混同を防ぐ仕様
- 庫内には、7個口タップを6つ内蔵
- 輪番充電機能および、過電流対策のヒューズを搭載

10月末発売予定

両面扉式 タブレット・PC充電保管庫 アイリス

IRIS-26(26台収納型) ￥160,000 (税抜)

IRIS-39(39台収納型) ￥180,000 (税抜)

【サイズ】W464×D409×H1129mm【質量】約60kg(PCを除く)
【材質】本体:スチール、仕切り板:PP【電源】AC100V8A
【対応端末サイズ】IRIS-26:9~14インチ相当、IRIS-39:9~13インチ相当



iRiS

